

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SEDスクールJR大和郡山		
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園や幼稚園の担任をしたことがある職員が多く、集団でのつまづきの背景が理解できる。	職員間で連携を取り、些細なことも共有し、保護者や子どもにとってよりよい療育を提供できるように努力をしている。	定期的に職員会議を行い、情報共有をしている。
2	相談支援が併設されており、連携が取りやすい。	こどもの様子に合わせて、今必要なことや課題を楽しく取り組めるように意識している。	会社独自の研修を受け、日々療育の向上を図っている。
3	職員の年齢に幅があることで保護者の世代に応じた助言がしやすい。	毎回の振り返りで担当職員が時感じたことを共有し、連続した支援を行えるように意識している。	新しい遊びや玩具の考案、作成など子どもの様子に合わせて、実際に職員間で試していけんを出し合っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園、幼稚園の経験長いが療育の経験が浅い。	療育の経験が浅く、療育的観点からのアプローチ、考え方。	社内研修、他スクールでの取り組みを学ぶ中で療育の知識を蓄えていく。
2	職種・資格に偏りがある。(保育士・幼稚園教諭)	知識の偏り。子どもとの関わりについては経験豊富な職員が多く楽しい雰囲気を取り組めて入るが、多角的な視点で考えることができていない	社内研修、他スクールの職員との連携で支店の幅を広げていく。
3	移行支援(放デイ、小学校)に繋いでいく連携	他施設との連携が取れていないこと	相談支援も併設されているので、連携を取りながら、他事業所、他施設との関係を構築していく。